

- 《出題傾向》
- ・記述説明重視の傾向に変化はない。
 - ・詩の記述式問題も例年通り出題されている。
 - ・本年の漢字の書き取り問題は、文章中の語句を漢字に直す一般的な形式で出題された。ことわざを一行で書き記す独特の形式ではなかった。

試験時間	本文文字数	大問別ジャンル	自由記述	抜出	記号	知識	漢字	*記述度
40分	約5000字	説明・随筆・詩	11	0	0	0	5	100%

*漢字の書き取り・読み取りを除いた記述式設問の割合(%)

《解答指針》

- ☐ 説明文 小島 俊明 「ひとりで、考える——哲学する習慣を」による

フランスの育児法のすばらしさについて説明した文章。フランスの親は、ぐずる赤ちゃんをあやすのを「ちょっと待つ」ことで、赤ちゃんに「忍耐と気の長さ」を教え、ひとり遊びから「孤独の味」を教えている。さらに「ちょっと待つ」ことは赤ちゃんに睡眠のサイクルをつなげる方法を「教える」ことにもなっている。

- 問一 ——①「よろこびを^{あた}与える」とは、ここではどういうことですか。

【読み取りポイント】

フランスでは、夜に赤ちゃんが泣いてもすぐにあやさずに、ちょっと待って赤ちゃんを観察し、ぐずる原因を見極める。そして「待たせてから、よろこびを与える」。

【解答例】

赤ちゃんのぐずる原因に合った対応をして赤ちゃんの機嫌をとること。

- 問二 ——②「『孤独』の味」とはどのようなものですか。

【読み取りポイント】

フランスでは、夜に赤ちゃんが泣いてもすぐにあやさずに、ちょっと待つ。その間に赤ちゃんが泣き止んで、眠りに入ったり、「待つ忍耐」を覚え、「ひとり遊び」をはじめることだってある。これは、ぼく（筆者）の考えでは、「孤独」の味を覚えさせてもいるのです。乳飲み子の時から「忍耐と気の長さ」を教え、ひとり遊びから「孤独の味」を教える育児法は多くの日本人女性を驚かせている。

【解答例】

ひとりで、忍耐強く考えたり、遊んだりすることのおもしろさ。

問三 ——③『『躰ける』といわず『教える』といいます』とありますが、日本で普段使われる「躰ける」という言葉と比べて、この文章にある「教える」にはどんな特徴があると考えられますか。

【読み取りポイント】

まず、文章中には、日本で普段使われる「躰ける」という言葉の意味についての説明は無いが、一般的には、芸芸、作法などを「教えて身につけさせる」という意味である。

他方、この文章にある「教える」は、フランスの育児法に関するものである。すなわち、夜に赤ちゃんが泣いてもすぐにあやさず、「ちょっと待つこと」で、赤ちゃんが泣き止んで、眠りに入ったり、「待つ忍耐」を覚え、「ひとり遊び」をはじめるという。これを筆者は、「孤独」の味を覚えさせてもいるといい、また、「忍耐と気の長さ」を教え、ひとり遊びから「孤独の味」を「教える」育児法とも表現している。さらに、急いであやしてしまうと、赤ちゃんが「睡眠のサイクルを自力でつなげる学習」をしているのが、邪魔されてしまう、「ちょっと待つ」は、眠りのつなげ方を「教える」ことにもなっているという。

以上から、日本の「躰ける」には、強制的に教えこんで身につけさせるという意味合いが強く、フランスの「教える」には子どもが自力で学び、覚えるのを「待つ」という特徴があることがわかる。

【解答例】

「躰ける」は強制的に身につけさせることであるが、この文章にある「教える」には子が自ら学び、覚えるのを待つという特徴がある。

問四 ——④『『列車が遅れて、ご迷惑をおかけして、まことに申し訳ありません』などは、「決して言いません」とありますが、その理由を説明しなさい。

【読み取りポイント】

フランス人は乳飲み子の頃から「待つこと」、「忍耐と気の長さ」を教えられ、上手に待つ習慣が身についている。そして、列車が遅延した場合、迷惑をこうむったのは鉄道会社のほうであり、また、鉄道会社が謝罪しても問題は解決されない。このようなとき、彼らは気長に待つほかないと考えるため、謝罪のアナウンスはされないであろう。

【解答例】

ヨーロッパ人は、列車が遅れて迷惑をこうむったのは鉄道会社であり、鉄道会社が謝っても問題は解決せず、待つほかないと考えるから。

問五 漢字の書き取り問題

A失敗、B成果、C確保、D雑音、E余談

☐ 物語・小説 五味 太郎「ときどきの少年」による

二人の男の子が「ぼく」の仕事部屋に入ってきて、「ぼく」の作業のようすを「実況中継」したり、お世辞をいったりする。「ぼく」は懸命に無視を装いながら、自分も、子供の頃友だちと電車の運転席の脇に陣取って、これっぽっちの悪気もなく、運転手の運転操作を真似たり、口頭確認をリピートしたりして迷惑をかけたことを思い出す。そして、仕事の邪魔をしている二人の男の子にも悪気はないのだと思うのだが、スケッチブックに悪戯書きを始めた男の子に、「こら、いいかげんにしろ。あっちへいけ」と悪気なく言って片付けた。

問一 ——①「何故か^{なぜ}ぼくに言った」とありますが、「何故か」と書かれている理由を説明しなさい。

【読み取りポイント】

「何で絵描いているの」とたずねる小さい方に、ぼくが「仕事だもん」と答えると、大きいほうが「あ、ぼく知ってるよ。Mちゃん（娘のこと）のおとうさん、絵を描く人だよ」と何故かぼくに言った。

【解答例】

「ぼく」が絵を描く人であることを、ぼくの仕事を知らない友だちではなく、「仕事だから」と答えた当人の「ぼく」に説明するから。

問二 ——②「なおさら罪である」とは、どんな点についてそう言っているのか、説明しなさい。

【読み取りポイント】

子どものころ、「ぼくたち」は電車に乗り込むと運転席の両脇に陣取って、運転手の運転操作を真似たり、口頭確認を真似て大合唱したりしていた。今考えれば、運転手はヤレヤレとさぞ迷惑に思ったことであろう。だが、ぼくたちは一度として運転手から小言を言われた憶えがない。ずっと後になって聞いたことだが、運転手は運転中、乗客に話しかけてはいけないし、話しかけられても答えてはいけないというサービス規程があるのだそうだ。それならば、なおさら罪である。

【解答例】

運転手が運転に集中するのを妨げているだけでなく、サービス規程のために小言も言えない運転手にひたすら沈黙という我慢を強いている点。

問三 ——③「猫の目を三回も塗ってしまった」とありますが、ここからどんな様子が分かりますか。

【読み取りポイント】

「ぼく」は、子どものころ電車の運転手に迷惑をかけた罪深さを慮れば、その罰として、いま勝手気ままに話しかけてくるガキに何をいわれようと、黙って我慢しなくてはならないと考える。そして、ただひたすら筆をうごかし続けるが、ひたすらの度が過ぎて、猫の目を三回も塗ってしまった。

【解答例】

仕事の邪魔をする子どもたちに苛立ちを感じつつも、懸命に無視し、我慢しているが、やはり気が散って仕事に集中できない様子。

問四 ——④「悪気はないんだ」にはどんな気持ちが込められていますか。

【読み取りポイント】

昔、電車の運転手に迷惑をかけた「ぼくたち」に悪気はなかったのであり、今、仕事の邪魔をしている子どもたちにも悪気なんてないとぼくは理解している。だが、幸いなことにぼくにはサービスというやつがないから、「こら、いいかげんにしろ。あっちへいけ」で片付けた。そう、これだって、悪気はないんだ。

【解答例】

自分が悪気のない子供たちを追い払ったのは決して悪意からではなく、仕事のためにやむをえなかったのだとうったえたい気持ち。

☐ 詩 さだひさ ひでみち 貞久 秀紀「体育」

「こころをこめた体」があるように、「体をこめたこころ」もあるのかもしれない。再び会うこともないような人と垣根ごしに会釈をしたとき、こころには体がこめられて、かるやかにすれちがった。

問一「こころをこめた体」とは、どういうことですか。

【読み取りポイント】

「ひとの世にはこころをこめた体があるように」とあることから、こころと体の関係についての一般的な理解を説明する。

【解答例】

人が心で思うことで、体が動き、表情が生まれるということ。

問二「あるきながら考えていると／考えながらあるいてもいた」とは、どういうことを言っているのですか。

【読み取りポイント】

「あるきながら考えていると／考えながらあるいてもいた」、このほとんど同一の記述のくり返しは意識の濃淡を表しているように思えるが、その事実にも気づいた筆者はどんな気持ちになったのか。

【解答例】

歩きながら考えているうちに、自分が歩いているのか、考えているのかわからなくなり、不思議な気持ちになったということ。

問三「会釈をかわし」とありますが、この「会釈」はどのようなものだったのですか。

【読み取りポイント】

ふたたび会うこともない通りすがりの人がむこうからあるいてくる。その人と垣根ごしに会釈をかわすと、こころに体がこめられ、かろやかにすれちがう。会釈というなにげない体の動きが、垣根の向こうを歩く通りすがりの人との心理的な距離を縮め、気持ちの通じ合う感覚を与えてくれる。それでかろやかな気分になったのであろう。

【解答例】

なにげない小さな体のうごきではあるが、通りすがりの人と心が通い合った感覚を与え、すがすがしい気持ちにさせてくれるもの。

《合格のために》

- 文章中に明示されている心情・要点を組み合わせることで正解となる記述問題は8割以上正答できるようにしておこう。
- 文章中に明示されている内容を基に推論を展開する必要がある問題は7割以上正答できるようにしておこう。
- 特に高度な着想力を要求する問題については5割前後の部分点を確保できるようにしておこう。
- 満点を取る必要はない。7割確保できれば、合格できる。
- 本校の国語問題では、高度な読解内容を、簡潔に、要領よく論述することが求められる。書くべき事柄に気づいても、コンパクトにまとめ上げることが難しい。
- 指導者から直接アドバイスを受けられる環境で、合格答案になるまで粘り強く書き直し作業を繰り返すトレーニングが不可欠である。丁寧な記述問題演習・過去問演習を積み重ねて、本校の出題傾向に対応できる国語力を身につけよう。